

2026 年 8 月 31 日

株式会社日立システムズエンジニアリングサービス

日立システムズエンジニアリングサービスの AI 体験学習プログラムに児童 29 人が参加

株式会社日立システムズエンジニアリングサービス（以下、日立システムズエンジニアリングサービス）が、横浜市教育委員会と民間企業や団体、大学、公的機関などが連携して多様な体験学習プログラムを実施する“子どもアドベンチャーカレッジ 2026”において提供した、AI 体験学習プログラムに横浜市在住・在学の児童 29 人が参加しました。

日立システムズエンジニアリングサービス 子どもアドベンチャーカレッジ 2026 提供プログラム

タイトル：AI を学ぼう！～歴史上の人物に話を聞いたら？生成 AI でインタビュー～

実施日時：8 月 5 日(水)・7 日(金)

実施場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー 25 階

8 月 5 日(水)と 7 日(金)、抽選で選ばれた両日計 29 人の児童がプログラムに参加しました。本プログラムは、AI を利用する上での利便性や危険性を、体験を通じて学ぶとともに、AI の回答を鵜呑みにせず自ら情報を吟味し、考える力を養うことを目的とした体験学習です。

グループワークでは、歴史上の人物としての人格を設定した AI に対して、児童たちが考えた質問内容を当社従業員が確認後に投入することで、不適切な内容の入力、誤情報の拡散といったリスクを低減し、また AI から思うような回答が得られなかった場合には、投入方法のアドバイスをを行うなど、児童たちが AI の特性や限界を理解しながら学ぶサポートをしました。

参加した児童からは、「AI とのやり取りを通じて、質問の仕方によって答えが変わることが分かった」「AI の答えをそのまま信じるのではなく、自分で考えることが大切だと感じた」といった感想が寄せられ、AI の活用方法や注意点について理解を深める機会となりました。

また、当社は横浜市が推進する「Y-SDGs」の認証を受けており、今後も事業活動を通じた持続可能な社会の実現に加え、次世代を担う子どもたちの学びを支援する活動など、地域への社会貢献に継続して取り組んでまいります。

子どもアドベンチャーカレッジ 2026 について

“子どもアドベンチャーカレッジ 2026”は、横浜市内在住・在学の小学生を対象に「主体的・対話的で深い学びのきっかけづくり」と「社会参加のきっかけづくり」の場と機会を提供するため、夏休み期間を活用し、民間企業や団体、大学、公的機関（以下、企業・団体）などの協力を得て、多様な体験プログラムを実施します。

詳しくは、<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/taiken/kodomoadventure2026.html> をご覧ください。

日立システムズエンジニアリングサービスについて

日立システムズエンジニアリングサービスは、多彩な人財と先進の情報技術を組み合わせた IT サービスを通じて、お客さまと社会のニーズに応え、持続可能な社会の実現に貢献します。日立グループの一員として、日立の先進的なデジタル技術、業務ノウハウ、知識が蓄積された Lumada 事業を展開し、お客さまの DX 推進をサポート。生成 AI やデジタル技術を活用した現場業務の効率向上、セキュリティ侵害の脅威への対応、データセンター運用やお客さまの IT システム運用などのサービス提供だけでなく、お客さまやパートナー企業との協創によって、社会やお客さまの課題を解決します。

詳しくは、<https://www.hitachi-systems-es.co.jp> をご覧ください。